

令和2年度 全体会

兵庫県内における水道事業の技術連携

～ 各ネットワーク部会の取り組みについて（報告）～



1.兵庫県内水道技術連携の背景

県内事業者が抱える課題

- 施設の老朽化による**更新需要**の増加
 - 水需要減少に伴う**水道料金収入**の減少
 - **ベテラン職員**の**大量退職**
 - **職員数の減少**
- } **経営面**の課題
- } **人材面**の課題

個々の事業者の経営努力では限界がある

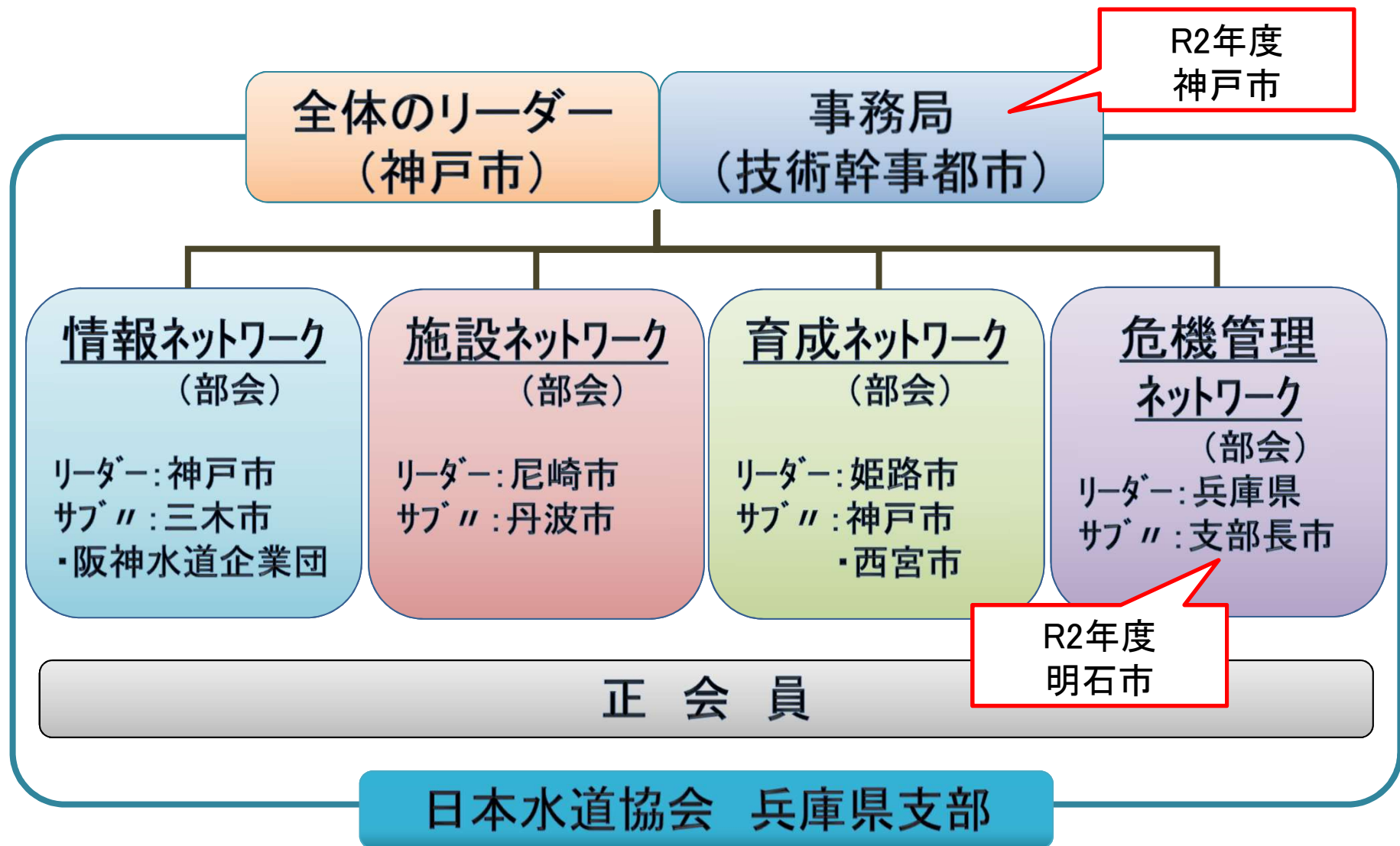


平成24年度～

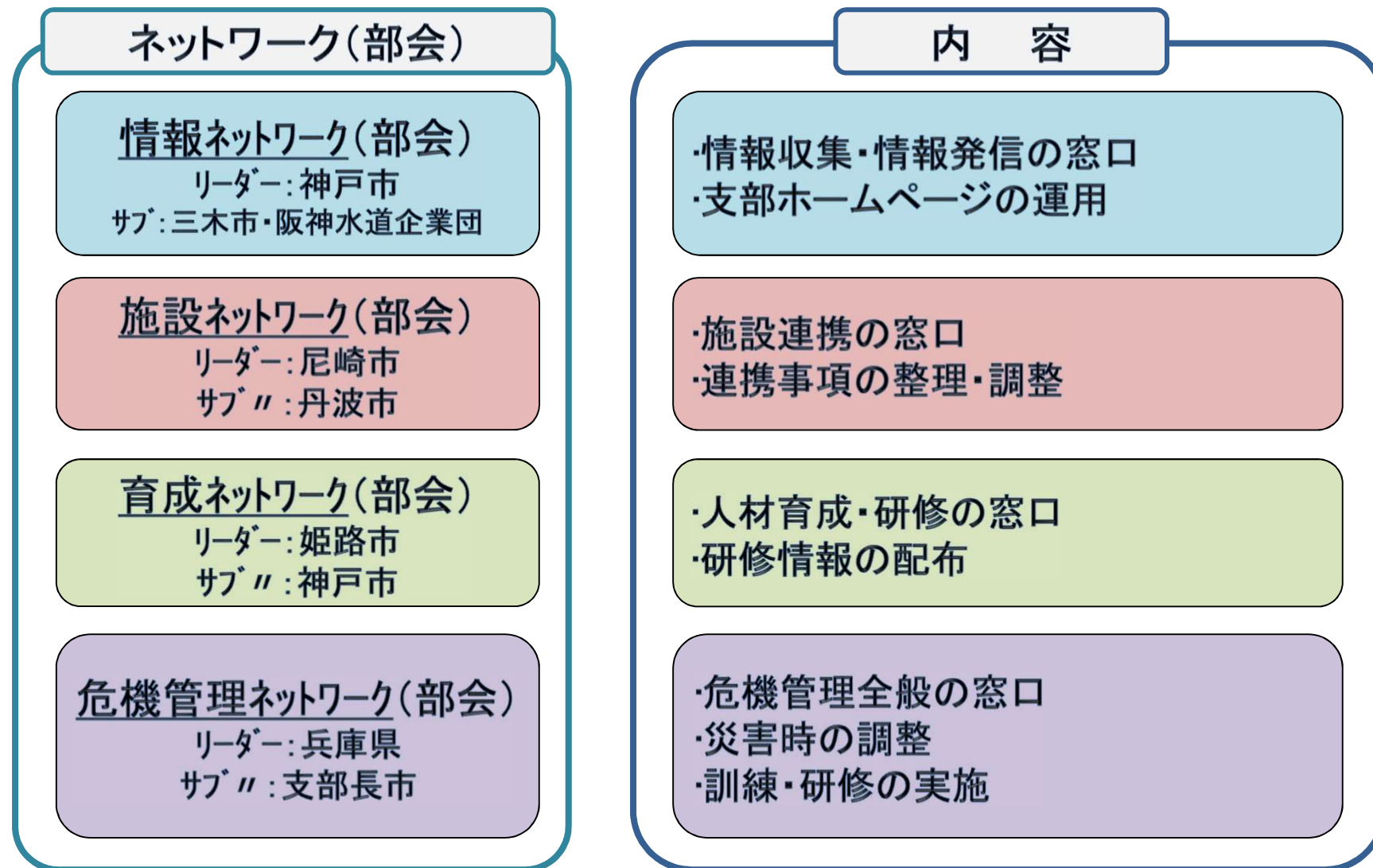
兵庫県内の水道事業者全体で課題に取り組む必要性

「**兵庫県内における水道事業の技術連携**」が本格化

2.兵庫県内における水道事業の技術連携の体制



3.各部会の概要



令和2年度 全体会

情報ネットワーク部会の活動報告



リーダー : 神戸市
サブリーダー : 三木市
阪神水道企業団

① 正会員ページの活用方法の検討 (阪神水道企業団)

- ・災害時等に利用する**応急資材表**や**県内水道施設図**など、情報セキュリティに配慮が必要な情報の掲載
- ・災害時等の情報共有のための**掲示板機能の導入**検討

② 県支部・県内事業体主催の研修情報の共有 (神戸市)

- ・**工事見学会等の研修情報**の掲載
 - 育成ネットワーク部会との連携
- ・各研修等への参加受付の簡略化 (**web上での申込**)

③ ペーパーレスの推進 (三木市)

- ・県支部主催の会議の**配布資料**を掲載
- ・本会資料も、今年度より掲載予定

令和2年度 全体会

施設ネットワーク部会の活動報告



リーダー : 尼崎市
サブリーダー : 丹波市

■ 検討テーマ

「管路に関する数値分析」

■ 検討内容

- ・ 県内事業者が公表している数値指標のうち、管路更新に関するものを抽出。
- ・ ブロックごとに比較し、ブロック間の特徴や課題を視覚化。
- ・ 分析結果を踏まえて今後の検討課題を抽出。

※1.公表数値は「水道事業ガイドライン業務指標(PI)」を使用。
(現状分析診断システム2020 JWRC)

※2.業務指標は各水道事業者のおかれている条件によって様々な違いがあり、単純に比較することはできないが、特徴や課題を把握をすることは可能。

施設ネットワーク部会の活動報告

■まとめ

- ・小規模事業者の管路更新に対する負担が大きい
- ・管路更新と耐震化のペースアップが共通課題
- ・管路の実寿命の把握が共通課題



■今後の検討課題

- ・管路の老朽度評価手法の事例共有
- ・更新優先順位設定方法の事例共有
- ・ダウンサイズ手法や効果の事例共有
- ・管種選定、工事発注方法等の事例共有

以 上

令和2年度 全体会

育成ネットワーク部会の活動報告



リーダー : 姫路市
サブリーダー : 神戸市
西宮市

1.これまでの取り組み

- 平成25年 1月 GX管技術講習会
講習及び実技講習(姫路市) 19事業者49名が参加
- 平成25年11月 応急給水訓練(危機管理部会と共同開催)
応急給水設備と給水タンク車の操作研修(県営神出浄水場)
大容量貯水槽の概要説明、給水タンク車の給水実演・応急給水作業
- 平成26年10月 積算に関するアンケート調査
積算に関して、情報収集と今後の取組みを検討
- 平成27年11月 応急給水訓練(危機管理部会と共同開催)
緊急遮断弁と給水拠点装置等の見学(姫路市北平野配水池)
32事業者が参加
- 平成29年 2月 SDF工法の技術講習会
講習及び実地研修(姫路市山電踏切下)26事業者54名が参加
- 令和元年 1月 技術講習会(実地研修)
現場見学(新設配水池及びφ800布設替工事)23事業者50名が参加

2.今年度の取り組み

今年度の取り組みとして

- 新型コロナ感染予防の観点から
少人数での現地研修会を計画
- 新型コロナ感染拡大の中
参集型の研修を行わない

これからの取り組みとして

- 各事業体で現在施工している現場をビデオ撮影し
日水協兵庫県支部のホームページに掲載する
- 現地研修会だけではなく
設計・積算に関すること
施設管路更新に関することなどについて
情報交換会をWeb会議形式により開催する

3.今後の取り組み

○過年度と同様に、技術講習会を検討中

県下で工事等の見学や勉強会を適宜開催しています。
なお、所属事業体内の工場情報や見学等の

ご要望があれば、お知らせください。

【連絡先】

姫路市水道局建設課

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL 079-221-2725

E-mail: sui-suidouke@city.himeji.lg.jp

令和2年度 全体会

危機管理ネットワーク部会の活動報告



リーダー : 兵庫県
サブリーダー : 明石市

1.水道災害に備えた実務訓練

応急給水実務訓練

実施日： 令和2年10月30日(金)
場 所： 淡路広域水道企業団宇原浄水場
→洲本市防災公園
参加者： 県内水道事業体 31団体(78名)

情報伝達訓練

実施日： 令和3年2月4日(木)
場 所： 各事業部署
参加者： 県内水道事業体

2. 応急給水実務訓練

(1) 給水車への注水訓練(宇原浄水場)



(2) 給水車搬送訓練(～洲本市防災公園)



(3) 仮設タンク組立、設置、注水訓練



(4) 仮設バルーン注水訓練



情報伝達訓練

県内浄水場の稼働停止を想定。
給水車出動などの応援要請ほか関連情報伝達を
電話・メールを活用の上実施。